

## 第12回空襲・戦跡九州ネットワーク荒尾集会 式次第

1 日時 令和7年11月22日(土)・23日(日) ※開場は12:30

2 場所 荒尾総合文化センター 会議室 1・2 (定員108人)

荒尾市荒尾4289番ー19 TEL 0968-66-4111

3 主催 空襲・戦跡九州ネットワーク実行委員会

4 共催 荒尾二造市民の会

5 後援 荒尾市



会場案内図 荒尾総合文化センター

6 参加費 ☐ 対面参加：二日間通し 1,500円 (資料代・集会運営費)。資料不要野方は「500円」

※対面参加の方は、当日会場受付でお支払い下さい

☐ ハイフレックス (ZOOM) 参加 1,500円

☐ 自由参加の「情報交換会・懇親会」「見学会」は、事前申込みのうえ、会場受付にて確定額をお支払い下さい。

### 7 開催趣旨

戦時中の日本本土の防衛や空襲、さらに空襲による被害を考えると、九州・山口地区には、B29部隊による中小都市爆撃や沖縄支援作戦、極東航空軍による九州上陸に向けての空襲、米機動艦隊による艦載機空襲など、共通した数多くの話題があります。

日頃は各地域で地道に調査・研究を続けている人たちが一堂に会して、これらの共通した問題を話しあうことは、戦争体験の継承や米軍資料の検討、戦争遺跡の保存等が課題になっている昨今、大変有意義なことではないでしょうか。

これまでに第1回（2014年）柳川市をかわきりに、久留米市・玉名市・出水市・筑紫野市・宮崎市・北九州市・大村市・宇佐市、鹿屋市で、昨年は熊本菊池市で計11回の交流会を開催してきました。さらに、昨年6月1日「設立10周年オンライン集会」も開催し、会名称「空襲・戦跡九州ネットワーク」となりました。

### 9 概要

☐ 11月22日(土)：午後 開場12:30 13:00～17:00頃

①福田一郎（荒尾二造市民の会） 13:20～13:50  
「荒尾二造の現状と山国疎開工場」

②池田 拓（九州近現代考古学談話会） 13:50～14:20  
「考古資料からみた熊本県内の防空壕」

③高谷 和生（くまもと戦跡ネット） 14:20～14:50  
「熊本県内投下の伝単と伝単投下器」

[ 休息 等 ]

④工藤 洋三（空襲・戦災を記録する会） 15:10～15:40  
「8月8日の八幡空襲と戦闘機掩護」

⑤織田 祐輔（豊の国宇佐市塾） 15:40～16:10  
「空襲で亡くなった動員学徒Ⅰ 機銃掃射編」

⑥藤木 雄二（大牟田の空襲を記録する会） 16:10～16:40  
「“大牟田空襲の碑” 移設と戦争遺跡“大牟田市庁舎本館”の保存運動」



東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所  
「変電所」全景

□11月23日（日）：午前 開場8：30 9：00～11：00頃

⑦八巻 聡（かごしまの戦跡を語る会） 9：00～9：30  
「陸軍教育隊の着陸訓練施設」

⑧藤井 通彦（坂ノ市二造研究会） 9：30～10：00  
「東京第二陸軍造兵廠坂ノ市製造所の実像」

⑨西 拓巳（久留米市文化財保護課） 10：00～10：30  
「久留米でB29は展示されたのか？」

⑩永益 宗孝（長崎県松浦市） 10：30～11：00  
「対馬郷崎（ごうざき）と神崎（こうさき）の海軍遺構」

10 見学会 23日（日）：12時00分～15時頃予定 ※自由参加で参加費は「別途・4,500円」

※マイクロバス利用。見学先・順路は以下の通り。

①荒尾文化センター駐車場発～ ②火薬庫群：大型・小型～ ③変電所～ ④検査掛棟分析室  
⑤廃液路～ ⑥官舎建物跡～ ⑦境界石柱～ ⑧荒尾二造平和資料館～ ⑨同センター駐車場着解散

11 情報交換会・懇親会 22日（土）：19時～21時頃

※自由参加で・参加費は「別途・4,000円」

「レストラン コットン」（荒尾市万田1588-4・0968-62-5996）

※宿泊先のA Z ホテル荒尾店から徒歩5分

12 書籍販売

本集会では会場利用の関係で、『集会記録集』のみの販売とします。販売ご希望の方は、各自でご対応ください。

13 宿泊先

今回の荒尾集会では、地元ビジネスネス「A Zホテル熊本荒尾店（0966-65-3301）」・シングル40室」を確保しています。朝食込み「6,050円（税込み）」です。宿泊予定者は各自で対応ください。



荒尾二造 小型火薬庫：崖面設置型

[ メ モ ]